

# 講 義 要 項

授業科目		緩和ケア		担当者	中俣 直子 井上 美奈子	
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後	
	1 単位	30 時間	講義・DVD・シミュレーション演習		2年次・後期	
授 業 目 標						
緩和ケアを必要とする人を全人的に捉え、その人らしい生活を全うするためのQOLの維持・向上を目指した看護の方法を理解できる。また、家族を含めた倫理的問題について考察できる。						
単元名	目 標	内 容		時間	単位	授業方法
1. 緩和ケアの現状と展望	1. 緩和ケアの歴史と今後の展望について理解できる。 2. 緩和ケアの理念が理解できる。	1. 緩和ケアの歴史と発展 2. 緩和ケアの理念 3. 緩和ケアの展望		2		講義
2. 緩和ケアにおけるコミュニケーションと意思決定支援	1. コミュニケーション技術を身につけるためのスキルとプログラムを学び、難しい場面でのコミュニケーションスキルを身につける。 2. 看護師による適切な意思決定支援について理解できる。	1. コミュニケーションの基本的知識 2. 看護師のコミュニケーションの意義 3. コミュニケーションに関する患者と医療者の認識 4. コミュニケーションを支えるスキルとプログラム 5. 難しい場面でのコミュニケーション 6. 意思決定支援 アドバンス・ケア・プランニング		2		講義
3. 全人的ケアの実践	1. 全人的苦痛を理解し、それぞれの対応について理解できる。 2. 患者の経過に応じた家族ケアの実践方法とグリーフと遺族ケアについて理解できる。	1. 身体的ケア：苦痛をやわらげ日常生活を営むための援助 2. 心理的ケア：病によるストレスへの対処の力とその支援 3. 社会的ケア：住み慣れた地域での暮らしの支援 4. スピリチュアルケア：「生・老・病・死」と向き合う苦を支える 5. 家族ケア 1) 家族ケアの方法 2) グリーフと遺族ケア		8		講義
4. 看取りのケアと緩和ケアにおける倫理的課題	1. 臨死期における全人的苦痛の緩和の実践方法と緩和ケアにおける倫理的課題が理解できる。	1. 臨死期の概念とケアの目標 2. 臨死期における全人的苦痛の緩和 3. 死亡前後のケア 4. 急変時のケア 5. 緩和ケアをめぐる倫理的課題		2		講義
5. 体験学習	1. 体験を通して、生きるということ、死ぬということを考えることができる。	1. 死の体験旅行		2		演習
6. エンゼルケア	1. エンゼルケアの意義を理解できる。 2. フェイスケアの重要性を理解し、実践できる。	1. エンゼルケア 2. フェイスケア（演習） クレンジング・マッサージ 蒸しタオル		4		講義 DVD 演習

単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
7. 紙上事例による臨床判断	1. 緩和ケアを必要とする対象の紙上事例を分析・検討することで、臨床判断能力を培うことができる。	1. 事例 1) 疼痛マネジメント 2) 疼痛以外の症状マネジメント 3) 意思決定支援 4) 予期悲嘆 5) スピリチュアルペインのケア	9		講義 シミュレーション 演習
		修得試験	1	1	
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 別巻, 緩和ケア, 医学書院. 2. 経過別成人看護学4, 終末期看護, エンドオブライフケア, メジカルフレンド社.				
評 価	1. 単位修得試験・出席状況・課題提出状況・演習態度				
備 考	1. 実務経験: 緩和ケア認定看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。 2. 実務経験: 看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				